

平成 19 年 1 月 18 日作成

平成 19 年 1 月 23 日更新

## 研究部会ホームページの開設について

### 1. 背景

平成 18 年 10 月 25 日(第 149 回全国講演大会広島)に開催された研究委員会(研究部会長連絡会議)において、各研究部会でホームページを立ち上げ、その活動状況を研究部会委員のみならず casting 学会会員がわかるようにして欲しいとの要求があった。

### 2. ホームページ作成指針

#### (1) 鑄造設備部会(部会長：徳山高専，兼重助教授)

徳山高専のサーバー上にホームページを解説しており、本部ホームページ (<http://www.jfs.or.jp/>) よりリンクされている。

#### (2) 研究委員長(長崎大学，香川教授)の指示により岩手大学，平塚助教授が作成した案(鑄鉄材料研究部会)が提示された。

### 3. 作成案

#### (1) 海上保安大学校の前田のアドレス上にホームページを開設する。

(鑄造 CAE 研究部会と生型研究部会)

#### (2) 掲載内容について、研究部会で検討及び了承して頂きたい。

### 4. ホームページアドレス

#### (1) (社)日本鑄造工学会

本部メインページ <http://www.jfs.or.jp/>

研究部会・報告 <http://www.jfs.or.jp/event/event2.html>

※ここから各部会へリンクが張られる予定

#### (2) 鑄造設備研究部会(開設済み)

[http://www.tokuyama.ac.jp/mechelec/~sakasegawa/setubi\\_top.html](http://www.tokuyama.ac.jp/mechelec/~sakasegawa/setubi_top.html)

#### (3) 生型研究部会(開設予定)

[http://www.jcga.ac.jp/~maeda/jfs\\_gsm/index.html](http://www.jcga.ac.jp/~maeda/jfs_gsm/index.html)

ンバー専用ページ(小文字入力)

ユーザ名 : gsm

パスワード : n@m@2006

#### (4) 鑄造CAE研究部会(開設予定)

[http://www.jcga.ac.jp/~maeda/jfs\\_cae/index.html](http://www.jcga.ac.jp/~maeda/jfs_cae/index.html)

社団法人日本鑄造工学会 - Windows Internet Explorer

http://www.jfs.or.jp/

社団法人日本鑄造工学会



# 社団法人 日本鑄造工学会

## Japan Foundry Engineering Society

TOP

[鑄造工学会のご案内](#)

[入会案内](#)

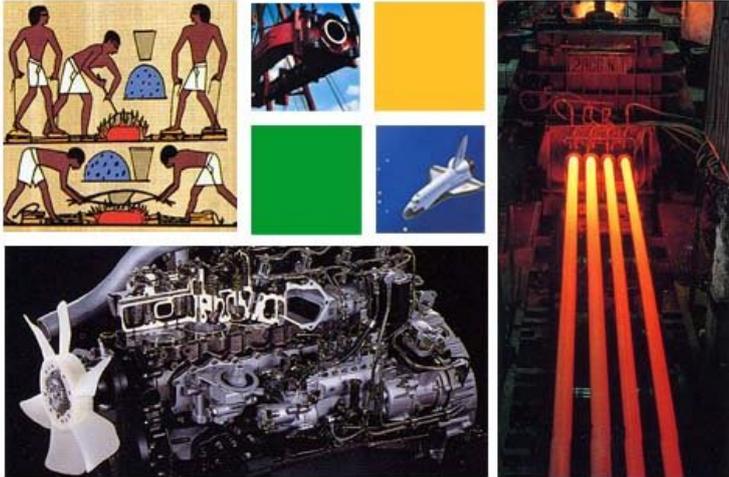
[行事・活動について](#)

[技術相談](#)

[支部リンク](#)

[出版物のご案内](#)

[お問合せ先](#)



[「鑄造工学」誌への投稿規定及び原稿執筆要領](#)

[第150回全国講演大会 講演申込書](#)

---

**TOPICS**

[第150回全国講演大会](#) (2006.12.18)

[「鑄造工学誌・新文献検索システム」販売のお知らせ](#) (2006.07.26)

[若手研究奨励基金の設立に伴う臨時会費ご協力のお願い](#)

【更新lineup】

- [第149回全国講演大会 学生優秀講演賞受賞者を更新しました。](#) (2007.01.10) **NEW!**
- [学会関連行事日程表を更新しました。](#) (2007.01.10) **NEW!**
- [会誌の目次を更新しました。](#) (2007.01.10) **NEW!**
- [研究報告および講習会テキストを更新しました。](#) (2006.12.08)

ページが表示されました

インターネット 100%



# 社団法人 日本鑄造工学会

## Japan Foundry Engineering Society

- TOP
- 鑄造工学会のご案内
- 入会案内
- 行事・活動について
  - ▶ 行事のご案内
  - ▶ **研究部会・報告**
  - ▶ 理事会・報告
  - ▶ 全国大会
- 技術相談
- 支部リンク
- 出版物のご案内
- お問合せ先

### 研究部会・報告

No	部会名	部長名	研究テーマ	幹事名	完了予定	備考
1	鑄鉄溶解	近大 木口 昭二	鑄鉄溶解の高効率化に関する研究	ナニワ炉機 村田 博敏	H19.3	
2	鑄鉄材料	岩手大 平塚 直人	鑄鉄の材質と鑄造欠陥のデータベース構築	室蘭工大 清水 一道	H21.6	
3	銅合金	藤井技術事務所 藤井 孝彦	鉛フリー銅合金、特に新JIS合金並びに低鉛青銅鑄物の諸特性に関する研究	産総研 岡根 利光	H21.8	
4	軽合金	東工大 熊井 真次	アルミニウム合金鑄物の高品質化と信頼性向上3	日立金属 山浦 秀樹	H21.7	
5	生型	大洋マシナリー 米北 洋一	生型の高精度化	新東工業(株) 橋本 邦弘	H21.3	
6	特殊鑄型	群衆ポードン 関根 新一	環境と特殊鑄型システムに関する研究部会	元・埼玉技 吉田 章彦	H20.6	
7	精密鑄造	ヨネダアドキャスト 米田 隆志	精密鑄造における新技術の開発	石川島播磨 筑後 一義	H20.7	
8	ダイカスト	東北大学 安斎 浩一	ダイカストの高品質化研究部会	早稲田大学 吉田 誠	H21.3	
9	鑄造CAE	海上保安大 前田 安邦	鑄造CAEの活用と品質向上	新東工業(株) 新田 拓也	H21.8	
10	鑄造設備	徳山工高専 兼重 明宏	革新的次世代鑄造設備創生のための技術統合	徳山工業高専 逆瀬川 栄一	H19.11	
期限付	非破壊技術	東北大 内一 哲哉	鑄造品の非破壊材質評価技術	日下レアメタル 鹿毛 秀彦	H19.9	
期限付	軽量化鑄物	アイシン高丘 栗熊 勉	軽量化に応える鑄鉄鑄物	新東工業(株) 橋本 邦弘	H18.12	
期限付	鑄物師史	市村 元	鑄物と鑄物師に関するあらゆる歴史事跡			

▶ [理事会報告](#)



鑄造設備部会ホームページ - Windows Internet Explorer

http://www.tokuyama.ac.jp/mechelec/~sakasegawa/setubi\_top.html

Google

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

鑄造設備部会ホームページ

---

# 鑄造設備部会ホームページ

---

## 活動方針

「革新的次世代鑄造設備創生のための技術統合とその基礎技術の伝承」

平成16年10月～平成19年7月まで

20世紀は科学技術の発展と専門分化した技術により、大量生産の基盤を構築し、一定の品質を保証した良好な工業製品が製造され、社会に貢献してきた。21世紀は複雑化したシステムを対象に諸問題を解決し、人間・生態系・環境までも取り込んだグローバルな観点からトータルシステムに対する最適な手法が求められている。生産設備においても、エネルギー、機械、電気、情報、通信、環境など多くの技術を統合し、設備が構築されている。

本研究部会では、設備技術の総合的統合について、その実用化例について研究・調査し、次世代型新鑄造設備技術の構築・発展を考える。また、鑄造製品の品質は、技術の統合やそれによって構築された設備の自動化とともに、技術者の知恵や知識（経験や勘）という暗黙知によっても補償されている。新研究部会では、それらの統合された基礎技術の伝承をどのように行っていくかについても検討する。

部会長 徳山工業高等専門学校  
機械電気工学科 兼重 明宏  
E-mail: [kaneisige@tokuyama.ac.jp](mailto:kaneisige@tokuyama.ac.jp)

幹事 新東工業株式会社  
橋本 邦弘  
E-mail: [k-hashimoto@sinto.co.jp](mailto:k-hashimoto@sinto.co.jp)

幹事 徳山工業高等専門学校  
機械電気工学科 逆瀬川 栄一  
E-mail: [sakasegawa@tokuyama.ac.jp](mailto:sakasegawa@tokuyama.ac.jp)

---

## お知らせ

上記記載の鑄造設備に関する研究に興味関心のある企業、研究所または大学等の方々の参加をお願い致します。

ページが表示されました インターネット 100%

(社)日本鑄造工学会 生型研究部会 - Windows Internet Explorer

http://www.jcga.ac.jp/~maeda/jfs\_gsm/index.html

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

(社)日本鑄造工学会 生型研究部会



社団法人 日本鑄造工学会

Japan Foundry Engineering Society

**生型研究部会**

研究テーマ：生型の高精度化

**趣旨**

国内鑄物生産量は、自動車産業の好調を初めとする景況感の改善を背景に緩やかながらも生産量の回復基調を示しております。しかし、国内鑄物産業の将来を考えた場合、技能・技術の伝承や環境対応を初めとした多くの課題への取組みが不可欠です。その様な取組みの基盤として、高品質化・高付加価値化を目指した確固たる技術的裏付けが不可欠であることは言うまでもありません。

本研究部会では、生型造型法を対象に、「高精度化」という切り口から、造型技術・砂処理技術・管理技術・ライン操業方法・材料等を幅広く取り上げ、且つ従来との比較の上で現在の技術水準を明確化し、今後の技術的な発展を目指しての提言に結び付けたいと考えます。趣旨に賛同されます研究者・技術者、また、工場環境担当の方々の積極的なご参加をお願い致します。



ページが表示されました

ローカル イン트라ネット 100%

(社)日本鑄造工学会 鑄造CAE研究部会 - Windows Internet Explorer

http://www.jcga.ac.jp/~maeda/jfs\_cae/index.html

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

(社)日本鑄造工学会 鑄造CAE研究部会



社団法人 日本鑄造工学会

Japan Foundry Engineering Society

## 鑄造CAE研究部会

研究テーマ : 鑄造CAEの活用と品質向上研究部会

### 趣旨

当研究部会は、1994年に鑄造方案研究部会として常設され、「鑄造方案ルールの見直しとコンピュータ利用」、「熱・流れ制御による鑄造方案の最適化」、そして2001年9月からは鑄造CAE研究部会と改名して「鑄造CAEによる現象解明と最適化」をサブテーマとして活動してきました。近年のコンピュータの利用は鑄造方案のみならず製品そのものの設計、変形や残留応力の解析、造型シミュレーション、材料設計、熱処理など多岐に広がっています。コンピュータハードウェアの飛躍的な進化及び低価格化が進む中、ソフトウェアベンダーからは従来の湯流れ・凝固解析に加え、熱応力解析や中子砂の充てん、ガッシングなどの新しいシミュレーション法が提供され、CAD/CAM、CAE、CAOといったデジタルエンジニアリングが必須のツールになっています。

かかる趨勢において、本研究部会は「鑄造CAEの活用と品質向上」をサブテーマとしました。鑄造法や材料種別にとらわれることなく、CAE(Computer Aided Engineering)の最新動向の調査、現象の可視化計測によるメカニズム解明、鑄造欠陥/不具合の予測手法についてなど、幅広く研究討議や情報交換

ローカル イントラネット 100%